

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Edition

オラクルのオンプレミス管理プラットフォームである Oracle Enterprise Manager Cloud Control と、Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Edition は、顧客のデータセンターか Oracle Cloud かどうかに関係なく、顧客のすべての WebLogic デプロイメントを一元的に管理できるようにします。Cloud Control とパックを利用することにより、顧客は IT コストを削減し、ビジネス結果を向上させてリスクを排除することができます。

パフォーマンス管理

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Edition はパフォーマンス・ボトルネックを自動的に検出し、これらのパフォーマンス問題を素早く診断し、根本原因を特定するための独自機能を提供することで、サーバーおよびアプリケーションのパフォーマンスを大幅に向上します。このパックが提供するおもなパフォーマンス管理機能は次のとおりです。

- 複数の WebLogic ドメインおよび Oracle Coherence の一元管理（Coherence が WebLogic 上で稼働していると仮定、そうでない場合は別個のライセンス）
- ミドルウェアの可用性およびパフォーマンスの標準監視。そのようなデータの履歴の追跡、ログ・ファイル間のメッセージの関連付け、潜在的な問題の通知の受信
- 実際のエンドユーザー・エクスペリエンス KPI を品質保証契約および基盤インフラストラクチャと統合するビジネス・アプリケーションの管理を介して、ビジネスの観点からアプリケーションを一元的に管理
- ルーティング・トポロジ・ビューアを介して、層全体の可用性およびパフォーマンスの問題の潜在的な影響を特定
- インストゥルメントのオーバーヘッドなしに、ガベージ・コレクション、スレッド、ヒープ分析などのリアルタイムおよび履歴の詳細な JVM 診断結果を取得
- コンテナ全体のリクエスト・インスタンスをデータベースにトレース、およびその逆

ORACLE Enterprise Manager

おもな利点

Java EE アプリケーションおよび Web サービスのパフォーマンスと可用性の改善

停止時間の発生を防止し、エンド・ツー・エンドの応答時間を改善することによるサービス品質の向上

エラーの発生しやすい手動のライフサイクル管理操作を自動化することによるコストの削減

おもな機能

複数のドメインの一元管理

詳細な JVM 診断の取得

HTML からデータベースまでリクエスト・インスタンスをフォロー

管理と構成のおもな操作の実行

構成変更のリアルタイム検出および履歴の追跡

業界標準およびベスト・プラクティスへの確実な準拠

ドメインのプロビジョニング、クローン、またはスケールアップ/ダウン

ドメインへのパッチ適用

ディザスタ・リカバリ操作の実行

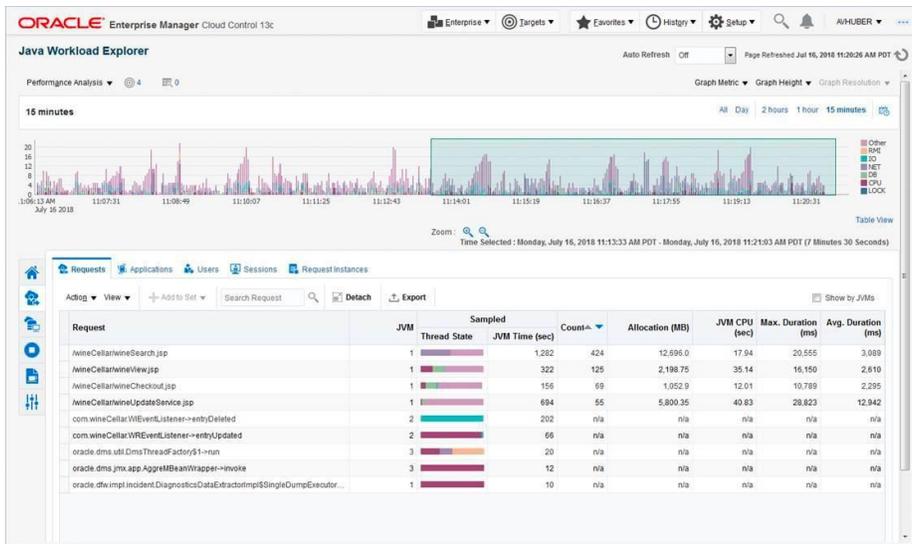


図1：Java Workload Explorerを使用すると、2つのリクエスト・セットまたは2つの期間の間で、JVMアクティビティを比較できます（実際のデータとサンプル・データの比較を含みます）

サービス・レベル管理

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Editionは、IT組織によるビジネス・サービスに対する高可用性、パフォーマンス、最適なサービス・レベルの実現に貢献します。このパックが提供するおもなサービス・レベル管理機能は次のとおりです。

- ユーザーのリモート拠点から実行されるサービス・テストまたは合成トランザクションを使用して、エンドユーザーの観点からサービスを監視
- サービスの問題や障害によるビジネスへの影響を評価し、サービス・レベル目標が達成できたかどうかを把握

管理

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Editionでは、従来はOracle Enterprise Manager Fusion Middleware ControlコンソールまたはWebLogic Server管理コンソールから使用が可能であった一般的な管理操作をCloud Controlコンソールから直接提供します。結果的に、単一のコンソールを使用して複数のドメインを一元的に管理できます。管理者はドメイン資格証明を一度指定して優先接続情報として保存でき、再びドメイン資格証明を要求されることはありません。このパックが提供するおもな管理関連の機能は次のとおりです。

- 変更の前にChangeCenter経由でドメイン構成をロック
- ドメイン、クラスタ、サーバー、アプリケーションのデプロイメント、マルチテナンシー、サーバー・テンプレート、およびマシン構成の設定の表示および編集
- JDBCデータソースの作成、編集、削除、およびテスト
- System MBean Browser経由でのMBeansの表示、構成、および使用
- 構成アクションを一連のWLSTコマンドとして記録
- ログ・ファイル設定の構成（ロケーション、フォーマット、ログ・レベル、ローテーション・ポリシーなど）
- Enterprise Manager管理者によって実行される管理操作の監査

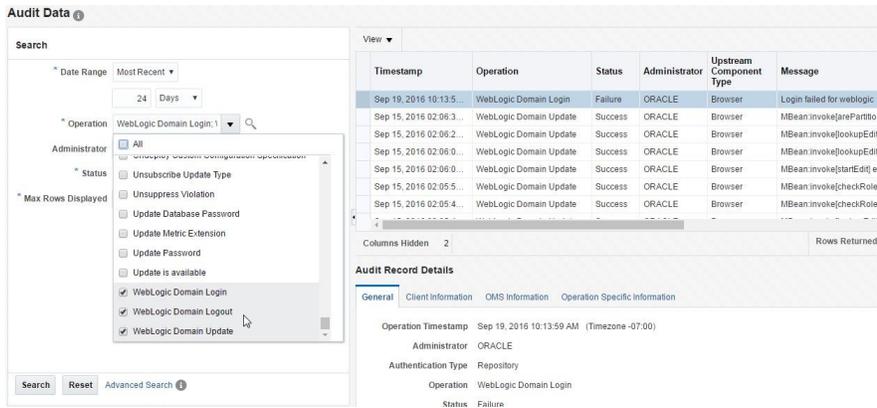


図2：Oracle Enterprise Manager Cloud Control 13cから実行されるWebLogicドメイン操作が監査されてAudit Dataページから検索できます

ライフサイクル管理

Oracle WebLogic Server Management Pack Enterprise Editionが、ミドルウェア・ソフトウェア向けの包括的なライフサイクル管理機能とその基礎となるハードウェアを提供することで、顧客はIT資産の価値の最大化、ITサービスの品質の向上、ITの管理コストの削減、およびITコンプライアンス要件への対応が可能になります。このパックが提供するおもな構成管理関連の機能は次のとおりです。

- 構成アイテムの検索の自動化
- 構成変更のリアルタイム検出および変更履歴の追跡
- 構成を比較して“構成のずれ”を縮小し、望ましくない差異が検出された場合は構成を同期させて再度同一化
- リアルタイムと履歴両方の構成変更をパフォーマンス・メトリックと相関付け
- Security Technical Implementation Guide (STIG)、米国サーベンス・オクスリー法 (SOX)、クレジット・カード業界 (PCI) などの標準を含む規制標準や独自のビジネス・ポリシーとのコンプライアンスを確保

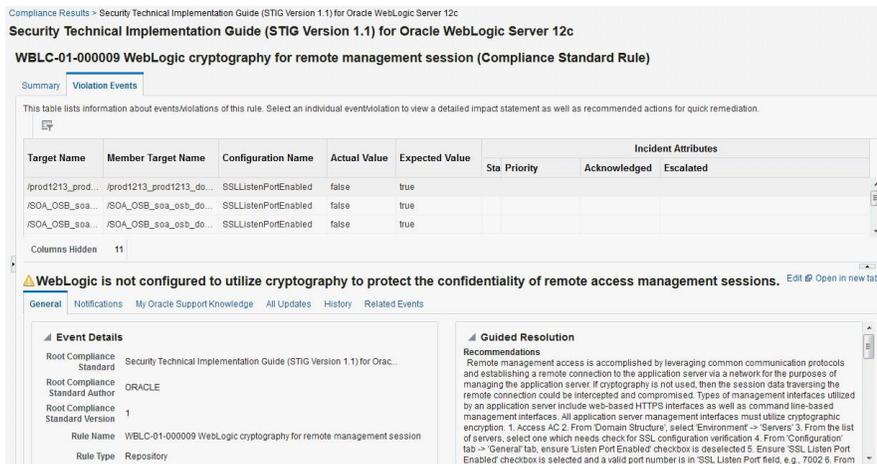


図3：STIGコンプライアンス標準を基に評価した際にWebLogicサーバー構成の違反を検出

このパックでは、エラーの発生しやすい一般的な手動処理を自動化し、管理者がより戦略的な業務に集中できるようにもしています。このパックが提供するおもなパッチおよびプロビジョニング関連の機能は次のとおりです。

- My Oracle Supportとの統合により、Oracle WebLogic Server推奨パッチを自動的に受信
- パッチ・セット更新、クリティカル・パッチ・アップデート、ワンオフ・パッチを検索、ダウンロードして、1つまたは複数のドメインの管理対象サーバーに適用
- ソフトウェア・ライブラリに保存されたインストール・メディアからドメインおよび/またはOracleホームをプロビジョニング
- ソフトウェア・ライブラリに保存されたプロビジョニング・プロファイルからドメインおよび/またはOracleホームをクローン
- 既存のドメインのスケールアップまたはスケールアウト（2ノードのWebLogicクラスタを4ノードへ拡張など）またはスケールダウン（4ノードのクラスタを2ノードへ縮小など）
- ドメイン間のWebLogicパーティションのエクスポートおよびインポート
- 古いバージョンのドメインをバージョン12.2.1のドメインのパーティションに移行
- Java EEアプリケーションを1つまたは複数のドメインヘデプロイ、アンデプロイ、または再デプロイ
- Java EEアプリケーションをサポートするシステムに対するディザスタ・リカバリ操作の実行（プライマリ・サイトが停止した際のスタンバイ・サイトへのフェイルオーバーなど）

The screenshot shows the Oracle Middleware Provisioning interface. The top section is titled 'Profiles' and contains a table with columns: Name, Products, Source, Platform, Version, Owner, and Description. Below this is the 'Deployment Procedures' section, also with a table containing columns: Name, Description, Version, Owner, Type, and Parent Procedure.

Name	Products	Source	Platform	Version	Owner	Description
AH 12.2.1 domain Profile	Oracle We...	WebLogic Domain	Linux x86-64	12.2.1.0.0	SYSMAN	no oracle home, one cluster one managed server
Restricted JRF Domain Config Profile - FMW infra 12.2.1.0	Oracle We...	WebLogic Domain	Linux x86-64	12.2.1.0.0	ORACLE	Contains 12.2.1.0 domain with one cluster containing one managed server with no custom apps deployed, restricted JRF, no binaries. Originally generated from software downloaded from OTN as fmw_12.2.1.0_infrastructure_Disk1_tof1.zip
No JRF Domain Config Profile - FMW infra 12.2.1.0	Oracle We...	WebLogic Domain	Linux x86-64	12.2.1.0.0	ORACLE	Contains 12.2.1.0 domain with one cluster containing one managed server with no custom apps deployed, no JRF, no binaries. Originally generated from software downloaded from OTN as fmw_12.2.1.0_infrastructure_Disk1_tof1.zip

Name	Description	Version	Owner	Type	Parent Procedure
Provision Fusion Middleware	This procedure clones and configures a Fusion Middleware Home and/or a Fusion Middleware Domain from the Software Library.	4.0	ORACLE	Middleware Provisioning	Not Applicable
Provision FMW infra 12.2.1.0 Oracle Home	This deployment procedure provisions a FMW Infrastructure 12.2.1.0 Oracle Home (domain config is not provisioned) as defined in the FMW infrastructure 12.2.1 profile.		ORACLE	Middleware Provisioning	Provision Fusion Middleware
Provision WebLogic Domain 12.2.1.0	This deployment procedure provisions a 12.2.1.0 restricted JRF domain containing one cluster with one managed server (Oracle Home/binaries are not provisioned) as defined in the WebLogic Domain 12.2.1.0 profile.		ORACLE	Middleware Provisioning	Provision Fusion Middleware

図4：完全にテストされたゴールド・イメージをソフトウェア・ライブラリのプロファイルとして保存してから、デプロイメント・プロシージャを使用してインストールおよび構成の自動化のためのプロファイルをクローニングします

CONNECT WITH US

+1.800.ORACLE1までご連絡いただくか、oracle.comをご覧ください。
北米以外の地域では、oracle.com/contactで最寄りの営業所をご確認いただけます。

blogs.oracle.com

facebook.com/oracle

twitter.com/oracle

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。本文書は、その内容に誤りがないことを保証するものではなく、また、口頭による明示的保証や法律による黙示的保証を含め、商品性ないし特定目的適合性に関する黙示的保証および条件などのいかなる保証および条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクルの書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴおよびAMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。0120

免責事項：本文書は情報提供のみを目的としています。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料になさらないでください。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

